

果樹カメムシ類に注意！

1 加害作物

もも、うめ、なし、ぶどう、みかんなど。
※特に6月はもも、うめ、なしで被害をうけやすい。

2 発生状況

今年度は5月におけるチャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺頭数が、一部地域で平年値を大きく上回った。

また、近隣県でもすでに果樹カメムシ類の誘殺頭数が多く見られている(注意報:奈良県、香川県、技術情報:徳島県、三重県)。

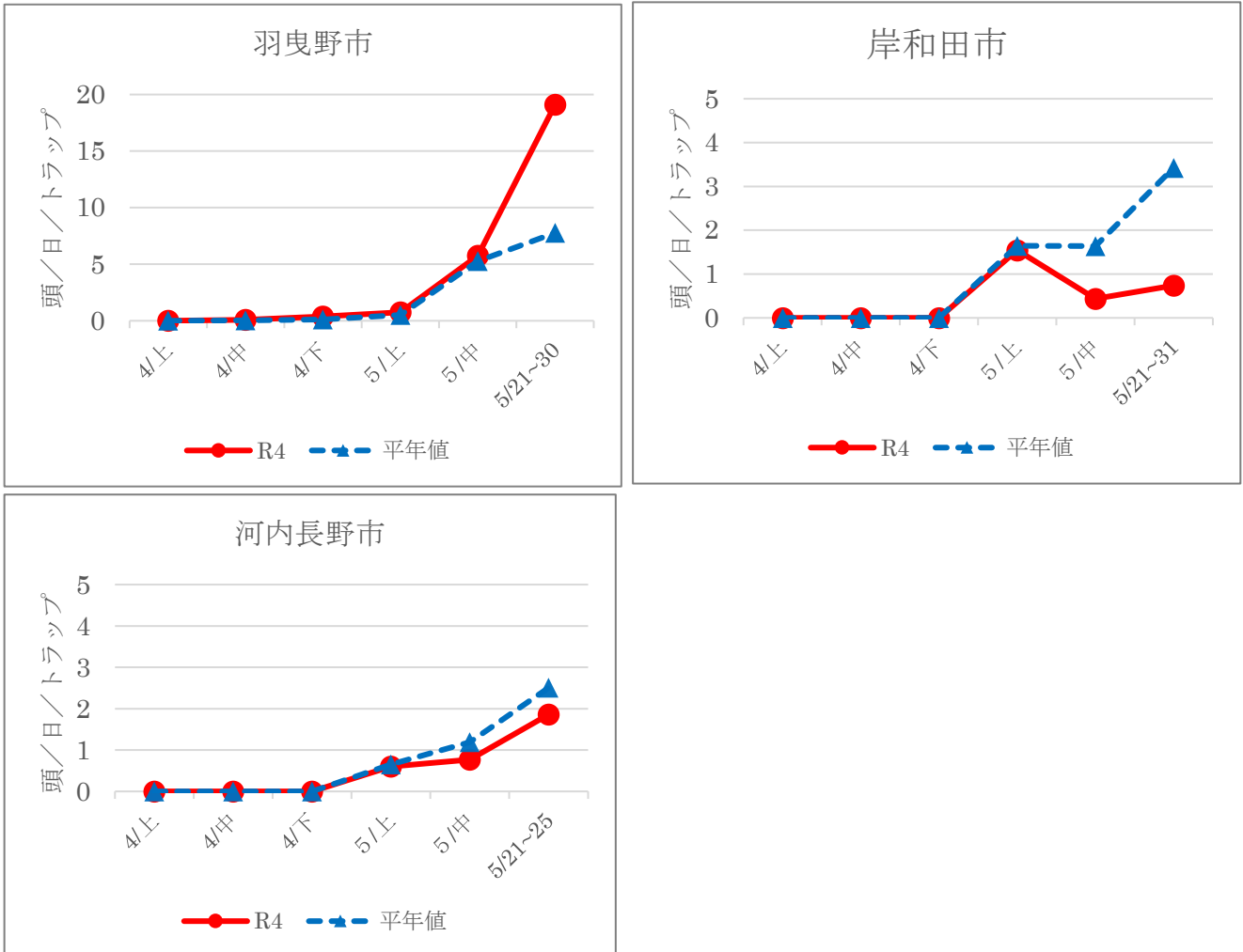


図 チャバネアオカメムシのフェロモントラップ誘殺頭数

3 生態

(1) 果樹を加害する果樹カメムシ類には、チャバネアオカメムシ、ツヤアオカメムシ、クサギカメムシ等がある。大阪府内で確認される果樹カメムシ類の大半はチャバネアオカメムシである。

- (2) 果樹カメムシ類の主なえさは、夏期のスギやヒノキ等の球果である。果樹園でも産卵は行われるが、成虫までは発育しない。スギ等の球果が多い年は夏に個体数が増加し、えさが不足すると秋に果樹園に飛来して果実を吸汁し、落果や奇形果等の被害が増える。また、越冬密度が高いと、春から夏にかけて果樹園に飛来して果実を吸汁し、落果や奇形果等の被害をもたらす。
- (3) もも、うめなどの核果類や、なし、かき等が被害を受けやすい。多発するとかんきつ類、ぶどうにも被害が及ぶことがある。
- (4) 袋がけをすると被害を軽減できるが、果実の肥大に伴って果実袋と果実が密着すると、果実袋の上から吸汁されることもある。
- (5) 果樹カメムシ類の果樹園等への飛来は日没後の2～3時間が中心である。



▲チャバネアオカメムシ

※(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 提供



▲ももの被害(果実表面がデコボコになる:丸印が被害箇所)

※大阪府植物防疫協会 提供

4 防除対策

- (1) 果樹カメムシ類の発生量や時期には地域や園地で差があるので、カメムシ類の活動が活発になる夕方に園内を見回り、飛来を確認したら、速やかに薬剤散布を行う。薬剤散布後も園内を観察し、再度飛来を確認した場合は、追加の散布を行う。
(別添表「果樹カメムシ類の防除薬剤例」参考)
- (2) 果樹カメムシ類に有効な薬剤は、有機リン系薬剤、ピレスロイド系薬剤、ネオニコチノイド系薬剤等である。**多発時には、残効性が比較的高いピレスロイド系薬剤、ネオニコチノイド系薬剤を中心に散布する。**
- (3) ピレスロイド系薬剤は果樹カメムシ類への効果は高いが、天敵類への影響も大きく、連用するとハダニ類やカイガラムシ類の多発を招くことがあるため、なるべく連用を避ける。
- (4) 薬剤散布に当たっては、収穫前日数や使用回数に十分注意する。
- (5) 薬剤散布は夕方か早朝に行うと効果的である。
- (6) うめや、ももの幼果期は薬害が発生しやすいため注意する。
- (7) チャバネアオカメムシに対しては、黄色灯は忌避効果があるため、設置している園地では早急に点灯する。ただしチャバネアオカメムシ以外には効果がないため、光源近くや園内でクサギカメムシやツヤアオカメムシを確認した場合は薬剤散布を行う。
- (8) 果樹園全体に網目4mm以下のネットを被覆することで侵入を阻止する。

<別添> 果樹カメムシ類の防除薬剤例

| 作物 | 薬剤名 | 系統 (IRAC) | 希釈倍数 | 使用時期 | 本剤の使用回数 |
|-----|-------------------------------------|------------------|------------------|----------|---------|
| もも | アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 | ネオニコチノイド (4A) | 2,000倍 | 収穫前日まで | 3回以内 |
| | アディオン乳剤 | ピレスロイド(3A) | 2,000倍 | 収穫7日前まで | 6回以内 |
| | アードント水和剤 | ピレスロイド(3A) | 1,000倍 | 収穫前日まで | 3回以内 |
| | テッパン液剤 | ジアミド系 (28) | 2,000倍 | 収穫前日まで | 2回以内 |
| うめ | アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 (小粒核果類) | ネオニコチノイド (4A) | 2,000倍 | 収穫前日まで | 3回以内 |
| | ダントツ水溶剤 | ネオニコチノイド (4A) | 2,000～ 4,000倍 | 収穫前日まで | 3回以内 |
| かき | アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 | ネオニコチノイド (4A) | 2,000倍 | 収穫前日まで | 3回以内 |
| | アードント水和剤 | ピレスロイド(3A) | 1,000倍 | 収穫7日前まで | 3回以内 |
| | アディオン乳剤 | ピレスロイド(3A) | 2,000～ 3,000倍 | 収穫7日前まで | 5回以内 |
| なし | アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 | ネオニコチノイド (4A) | 2,000倍 | 収穫前日まで | 3回以内 |
| | アディオン乳剤 | ピレスロイド(3A) | 2,000倍 | 収穫前日まで | 2回以内 |
| ぶどう | アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 | ネオニコチノイド (4A) | 2,000倍 | 収穫前日まで | 3回以内 |
| | ダントツ水溶剤 | ネオニコチノイド (4A) | 2,000～ 4,000倍 | 収穫前日まで | 3回以内 |
| みかん | アディオン乳剤 (かんきつ) | ピレスロイド(3A) | 2,000倍 | 収穫14日前まで | 6回以内 |
| | スミチオン乳剤 (みかん) | 有機リン(1B) | 1,000倍 | 収穫14日前まで | 5回以内 |
| | スミチオン乳剤 (かんきつ(除みかん)) | 有機リン(1B) | 1,000倍 | 収穫14日前まで | 3回以内 |
| | アルバリン顆粒水溶剤 スタークル顆粒水溶剤 (かんきつ) | ネオニコチノイド (4A) | 2,000倍 | 収穫前日まで | 3回以内 |

・登録は令和4年5月25日現在

・最新情報は農林水産消費安全技術センターの農薬登録情報提供システムで確認してください。

(http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm)